

はしがき

第 156 回言語学会は 6 月 23 日、24 日に東京大学で開かれることになりました。言語学会創立 80 周年記念大会となっています。吉田和彦先生をはじめとする 80 周年記念ワーキンググループのみなさん、また大会実行委員長の西村義樹先生はじめ開催校の皆様にお礼を申し上げます。内海敦子大会運営委員長を中心として、発表の選考、プログラムの作成をしてくださった大会運営委員の皆さま、当日司会を担当してくださる先生方、選考・審査にあられる発表賞選考部会および審査員の皆様に感謝いたします。

今大会には多くの発表応募があったため口頭発表応募 104 件のうち採用は 56 件（採用率 53.8%）、ポスター発表は応募 4 件のうち採用は 2 件（採用率 50%）という狭き門となりました。今回も口頭発表は一日目、ポスター発表は二日目の午前中にあります。扱われている言語、対象となっている現象、採用されている理論の枠組みなど非常に多岐にわたりバラエティに富むものになっており、言語学会の大会の特徴をよく表しています。

今回は私の会長就任の最初の大会となるため、二日目の開催校挨拶、会長挨拶、会員総会に続き私の会長就任講演があります。続いて、80 周年記念事業の一環として、公開シンポジウム「日本のヴォイス研究の 80 年—成果と展望」が行われます。世界を代表するヴォイス研究者と新進気鋭のオーストロネシア諸語研究者のコメントからなるヴォイス研究のシンポジウムとなっており、期待されます。

言語学会は昨年度から紙媒体の予稿集はなくなり、pdf によるもののみになりました。今回も事前にダウンロードしておかれるか、ご自分で印刷してお持ちになるようにお願いします。会場でもダウンロードはできますが、電波の状況で wifi などが利用しにくいことも考えられますので、前もってのダウンロードをお勧めします。

11 月 17 日、18 日に京都大学で開かれる第 157 回大会も言語学会創立 80 周年記念大会で、「新村出初代会長から 80 年——言語学はいま？そしてこれから？」という題で、言語学会初代会長、京都大学言語学講座の教授であった新村出先生にちなむシンポジウムが行われます。皆様の参加をお待ちします。

2018 年 6 月
日本言語学会会長 田窪行則